

# 6月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

## 行った主な活動

### ■ 摘粒

ぶどう一粒が10円玉ほどの大きさになるので、粒同士が押し合って潰れないように、ハサミで余分な粒を間引く。



### ■ 摘芯

枝が伸びすぎると、枝の生長に栄養が使われてしまい、実に栄養があまり送られなくなるため、伸びすぎた枝の先端や余分な枝をハサミで切り落とす。



## 活動を行った感想など

摘粒はぶどうの見た目が決まる大事な作業だが、粒が大きくなることを想像しながら行うため、難しくて上手くいかないことも多い。安定して上手くできるように技術を磨きたい。

摘芯は品種によって切る長さが違うので、間違えないように気を付ける。

研修先の農園では、房数が多かったり、枝が入り組んでいる場所があったりして、摘粒や傘かけをやり忘れてしまった部分があった。作業終了後にやり忘れがないか確認するようにする。

## 今後の目標など

規模が広く、ハウスがたくさんあるため、どのハウスに何の品種があるか早く覚えるようにする。

できるだけ早く空いている圃場を見つけて、独立できるように情報集めをする。